

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

		担当課係		学校課	
事務事業名	部活動指導員配置促進事業			事業予算費目	
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり		款	10 教育費
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり		項	1 教育総務費
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興		目	3 教育指導費
	基本方針	6-1-1 就学前・学校教育の充実		事業	10 部活動指導員配置促進事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	中学校の部活動において、部活動指導員の配置を行うことで、生徒の技術力等の向上や教員の働き方改革を両立させることを目的としている。	事業の内容	国・県の補助事業である、「部活動指導員配置促進事業」を活用し、中学校に部活動指導員を配置し、報酬等を支払っている。
-------	--	-------	---

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標		
	部活動指導活動時間		R2	R3	R4	R5		
	指標の説明	時間	目標	1,030	1,030	1,030	1,030	
	部活動指導員が指導・支援を実施した時間	時間	実績	755	853			
		R2年度決算		R3年度決算		R4年度予算		市民一人あたりのコスト
関連事業費	事業費		1,181,300	1,329,800	1,578,000	R2	32	
	国県支出金		786,000	884,000	1,052,000	R3	36	
	地方債					各年度4月1日現在の人口		
	利用者負担・その他					R2	37,243	
	一般財源		395,300	445,800	526,000	R3	36,670	

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充		縮小して継続	判定理由 本事業は、令和2年度から実施しており、生徒の精神的、身体的能力の向上や教員の働き方改革などの成果が見られるとの現場の評価を得ている。今後も、国・県の補助金を活用しながら、適切な人材配置を進めていきたい。
	○	改善・効率化し継続		休止・廃止	
		現状のまま継続		完了	

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	令和2年度に続き、令和3年度についても新型コロナウイルス感染症の影響により、部活動の休止を余儀なくされた。今後も、感染症対策にも気を配り、生徒の安全を確保しながら、教員の働き方改革の推進に取り組む必要がある。
今後の方向性	部活動指導員のほかに、令和4年度から市が県より再委託を受け地域部活動指導員の配置を行う予定であり、それぞれを平行して導入していく中で、他の競技や学校への配置を計画的に進めていくことが重要である。